

令和6年度盛岡第二高等学校第3回学校運営協議会 議事録

令和7年2月19日(水)

14:00~15:45

場所：盛岡二高 会議室

進行：副校長 記録：総務課

○出席者 学校運営協議会委員 6名

学校職員 10名

○日程 13:45 受付 14:00 学校運営協議会

(1) 開会の言葉 (進行：副校長)

(2) 会長挨拶 (PTA 会長)

早いもので2月半ばとなり、今回は締めくくりの会となった。来年度につながる会となるよう委員の方々から忌憚のないご意見をいただきたい。

(3) 校長挨拶 (校長)

日頃より様々な場面でご指導いただき感謝している。

4月に赴任し、1年間過ごす中で、二高らしさを感じている。多くの場面で生徒の生き生きとした姿を見ることができた。1、2年生は進級に備え、3年生は進路に向けて追い込みの時期を迎えている。

本日は来年度に向けてご忌憚のない意見をお願いしたい。

(4) 令和6年度学校概況説明

ア 学校経営計画について (校長)

今回は学校経営計画の4目指す学校像(1)重点目標に対する取り組み状況についての達成状況について報告する。

**【重点目標】**

ア 授業の充実と基礎学力の定着を図る

・「授業が分かる」と答えた生徒の割合が達成指標を上回った。1年生からBYODが始まり、先生方もいろいろと工夫し授業を行っている。

イ キャリア教育の充実により、進路希望の充実を図る

・「進路実現に向けた適切な指導が行われている」と答えた生徒の割合が達成指標を上回った。面談を通して生徒の考えを引き出し、支援を行っているところに生徒は満足感を得たのではないかと。

- ウ バランスのとれた教育活動を実践し、主体性と協調性の育成を図る。
- ・「二高に入学してよかった」と答えた生徒の割合が達成指標を上回った。普段の生活の様子、学校行事への参加の様子を見ていると学校生活は楽しいことばかりではないと感じるが、生徒は人間関係の悩みを抱えながらもしっかり頑張っている。先生方もサポートしている。
- エ 学校いじめ対策組織を有効に活用し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処にあたる。
- ・認知したいじめが解消した割合が達成指標を上回った。学校では年に4回いじめ調査や面談を行い、人間関係で困難を抱える生徒には手厚い支援をしている。現在は認知したいじめについては落ち着いており、学年団を中心に見守っている状況である。
- オ 地域とともに歩む学校として、開かれた学校づくりを推進する
- ・「教育活動を通し地域社会に貢献している」と答えた保護者の割合が達成指標と同等だったが、昨年の数値を下回った。「総合的な探究の時間」の活動などで地域に出る場面があったが、外部にあまり認知されていない。地域にどれだけ出ているかが今後の課題。
- カ 生徒を個人として尊重し、不適切な指導を根絶する体制を組織として構築する
- ・「安心して学校生活を送ることができている」と答えた生徒の割合が達成指標を上回った。生徒はお互いを尊重する大切さを理解し学校生活を送っている。

委員：「安心して学校生活を送ることができている」と答えた生徒の割合が92で高い数値だが、残りの8%は安心できていない。先生方には100%を目指してほしい。

委員：イの進路実現について95%を超えているが、第一希望の進路を達成した生徒が何%か調査しているか。

進路指導：国公立、私立などのくくりでの合格率は出しているが、外部には公表していない。

委員：卒業してから二高で良かったという生徒が100%であってほしい。

## イ 学校評価アンケート結果について（副校長）

### 【分析 1】 全体的な傾向について

肯定的評価で 75%以上の項目が多い（生徒 18/19 保護者 15/18 教員 18/20）。生徒評価では 18 項目で 80%を超えた。最も肯定的な評価が低い項目は「6 生活のきまりやマナーの遵守」（教員 58%）である。保護者の評価は昨年度と比較すると 18 項目中 5 項目でポイントが増加し、9 項目で減少した。

### 【分析 2】 評価が高かった項目、評価が改善した項目について

「7 生徒会活動や部活動の活発さ」「15 安全・清潔な学習環境の保持」「20 学校徴収金の額」において高い評価を得た。

### 【分析 3】 評価が低かった項目、評価が分かれた項目について

「4 家庭学習・課題の徹底」（生徒 83%、保護者 64%、教員 81%）

「5 応用力のつく授業の実践」（生徒 80%、教員 69%）

「生活のきまりやマナーの遵守」（生徒 69%、保護者 80%、教員 58%）

「保護者と連携した進路指導」（生徒 91%、保護者 72%、教員 100%）

「PTA 活動における保護者との交流・対話」（保護者 74%、教員 94%）

- ・「6 生活のきまりの遵守」の評価が低いことについては、今年度スマートフォンの使用規定と服装規定を見直したことにより、使用の境目など曖昧なところが原因ではないかと考える。数値から生徒も危機感を持っていることがわかる。二高生としての意識と品格を高く持つように指導が必要。

委員：評価 AB を肯定的な評価、CD を否定的な評価としているが、C の「あまり思わない」と D の「まったく思わない」は大きな違いがある。D に着目して集計すると生徒の実態がよりわかるのではないか。

## ウ 各課取組状況について

### 【総務課】

- ・卒業式は昨年度同様、在校生全員参加の従来型で実施する予定。
- ・PTA 活動は活発に行われている。来年度は PTA 総会の出席者を増やすため、案内を早く配付するなど工夫して実施したい。
- ・令和 9 年度の創立 130 周年に向けて、昨年度末に準備委員会を立ち上げた。
- ・同窓会会計については、寄付金の減少と同窓会報の発送費の値上げにより苦しい状況にある。会報発送、会計予算について見直しを図りたい。

委員：同窓会の寄付金は一口いくらか。

総務課：一口 2,000 円。現在は会報を同窓生全員に送付しているが、戻ってくるものがかなりある。寄付をしてくれている同窓生が高齢化しており、寄付金の収入が減少している。

### 【教務課】

- ・4月に実施した面談月間は非常に有効的に機能している。
- ・今年度より45分授業を実施した。放課後の時間が増え、3年生は進路指導の時間を取ることができ有効であった。
- ・今後、より一層ICTの活用が期待される。研修を通し、生徒にとってより効果的な活用方法を推進していきたい。

委員：ICTを効果的に使用すれば学力の高い生徒、低い生徒どちらにも対応できると思うが、実際はどうか。

教務：全職員が使用するところまでいっていないのが現状である。職員対象の研修は行っている。来年度はキャリアナビを導入予定。

### 【生徒指導課】

- ・夏季の服装について、暑さ対策のためジャージ登校を始めた。街中をジャージで歩くのはみっともないという意見もあるが、暑さ対策には効果的であった。
- ・校内での学習を目的としたスマートフォンの使用を許可した。マナーの指導が必要と感じている。
- ・自転車通学生のヘルメット着用については、機会を設けて説明しているが、4月にまた着用を推進する。

委員：女子生徒のスラックスは動きやすいし健康的で良いと思うが、二高の制服にスラックスはあるのか。

生徒指導課：数年前に業者から、二高の上着に合うスラックスは難しいと言われた。

### 【進路指導課】

- ・国公立大学の総合型・学校推薦型選抜試験の合格は約半数。届かなかった生徒は私大に変更する者もいる。
- ・学校評価の進路の項目の保護者評価が低かった。学年単位での情報提供を強化していきたい。

### 【保健厚生課】

- ・健康教室は各学年予定通り終了した。
- ・避難訓練は9月にシェイクアウト訓練と校内避難訓練を実施した。次年度は煙体験実施の検討、ハンカチ持参を徹底したい。
- ・来年度、校内清掃分担を大幅に変更予定。縦割り担当とし学年の枠を超えた分担を考えている。

委員：二高の清掃は良くなされている。毎日ではなく月、水、金を清掃日とし、火、木を先生方は他の仕事にあてるという発想があっても良いのではないか。

#### 【教育相談課】

- ・今年度、支援員が配置され、支援の必要な生徒の強力なサポート体制を取ることができた。担任の負担軽減にもつながった。
- ・4月に実施した1学年全体でのグループワークはとても有効的であった。
- ・スクールカウンセラーについては、保護者の利用もあり次年度はコマ数を増やしたいと考えている。

#### 【図書課】

- ・生徒の進路選択に応じた図書購入を実施できた。
- ・プレゼン力向上の目的で行っているミニプレの実施により、図書館内の新聞は有効活用された。
- ・「図書館だより」の作成については、次年度は生徒主導で進めていきたい。

委員：二高の図書館は充実している。盛岡大学の図書ボランティア導入も良い取り組みと感じている。

#### 【情報・研究】

- ・今年度、生徒の欠席や遅刻の連絡を forms に移行した。次年度は、同様の活用について研究をすすめる。
- ・職員間の一層の教え合い、学び合いの推進をはかる。

#### (5) 意見交換

委員：二高のHPは見やすいと感じている。行事予定の掲載の仕方が非常にわかりやすい。同窓会のところをもう少し充実させてはどうか。

二高の上着に合うスラックスはないとの事だが、協議を続けてほしい。

P T A活動は先生方に任せている部分が多い。次のP T A会長と相談し、良い方向に持っていきたい。

委員：白梅精神の中に「進取」とある。長い伝統があり先輩や地域の方々のご意見もあると思うが、生徒たちには「進取」を貫いてほしい。高校はトライ&エラーの場、間違いや失敗を重ねて成長する場だと考える。

委員：学校運営協議会の場に生徒も出席し探究活動の発表を行っている学校もある。この会に生徒が入って、生徒の意見を聞く場面があっても良いのではないか。それが「進取」につながるのではないか。検討してほしい。

委員：教育現場は様々な場面で昔と変わってきている。小・中・高と連携を取りながら進めていきたい。中学校のミッションは高校入試につなげること。二高には中学生が入りたいと思う魅力的な学校になってほしい。

委員：二高はもうすぐ 130 周年を迎える。伝統ある学校として、つないでいかなければならないことはあるが、原点を大切にしながら、今の生徒に合う形に変えて継続しても良いと思う。二高はいろいろな生徒を受け入れながら生活できる学校。様々な行事を通して自分以外の誰かのために力になれるのは二高の良いところ。是非、二高の日常生活を note にアップし発信してほしい。

委員：二高はどのような魅力があるか問われている。二高の魅力をアピールするのが必要と考える。卒業生に卒業して気づいたことや在学中に気になっていたことなどを聞いてみるのも良いのではないか。新しい発見があるかもしれない。

(6) その他

(7) 閉会の言葉